

インフォメーション・コーナー

会 告

○ 2020 年度農業農村工学会賞候補の推薦について (再) 締切 10 月 31 日	62
○ 第 43 回「水の週間」水のワークショップ・展示会について (第 3 報) 8 月 13~15 日開催	62
○ 2019 度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について (再) 申請締切 9 月 13 日	62
○ 今年もやります! こりゃ映像! 2019—ミニ動画コンテスト— (再) 応募締切 8 月 20 日	63
○ 「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い	64
○ 消費税率の改定予定に伴う定価表示の変更について (再)	64
○ PWE 誌年間購読料の値下げについて (再)	64
○ 会費等の「振込手数料」のご送金者(会員様等)負担について (再)	64
○ 「改訂 6 版 農業農村工学標準用語事典」の出版について	65
○ 学生会員入会時の特典について	65
○ 「CPD 技術者サポート票」無料ダウンロードサービスの開始について (再)	65
○ 学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集!!	65
○ 2020 年の学会誌表紙写真の募集 夏季締切 9 月 30 日	66
○ 「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	67
○ 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2018 年 7 月から 2020 年 6 月までの編集事務局について	68
○ 令和元年度東北支部総会・第 61 回東北支部研究発表会ならびに第 51 回東北支部研修会・ 第 41 回地方講習会の開催について (第 3 報) 発表申込締切 9 月 27 日	69
○ 第 70 回関東支部大会 (講演会・講習会等) の参加者募集について (第 3 報) 参加申込締切 8 月 30 日	70
○ 令和元年度九州沖縄支部大会 (第 100 回講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会) の開催について (第 2 報) 講演申込締切 8 月 23 日	71
○ 農村計画研究部会第 41 回現地研修集会の開催について (第 2 報) 参加申込締切 9 月 5 日	73
○ 第 52 回畑地かんがい研究集会の開催について (第 1 報) 10 月 17~18 日開催	73
○ 第 29 回農村道路研究部会・研究集会の開催について (第 2 報) 発表申込締切 9 月 30 日	74
○ 令和元年度第 63 回粘土科学討論会について 9 月 10~12 日開催	75
○ 日本腐植物質学会第 35 回講演会および総会の開催について 9 月 18~19 日開催	75
○ 2019 年度土壌物理学会大会の開催について 参加申込締切 9 月 26 日	75
○ 第 22 回 (2020 年) 「日本水大賞」の募集について 応募締切 10 月 31 日	76
農業農村工学会論文集内容紹介	77
農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム (一般参加可) 一覧	78
受入れ図書	79
学会記事	79

第 87 巻第 9 号予定

展望：松本雅夫

小特集：農地集積 8 割の達成後、農村はどのように変化していくのか

報文：農地集積の進展に伴う集落組織の変容と課題：矢挽尚貴ほか

報文：スマート農業を支える基盤研究の現状と将来像：土居邦弘

報文：中間農業地域において集約化が進んだ経営体の稲作管理作業：坂田 賢

報文：集積した農地の有効利用のための排水性の評価手法：瑞慶村知佳ほか

報文：震災復興地区にみる農地集積の状況と農業振興の方向性：大和田辰明ほか

報文：農業の Society5.0 に向けた技術開発：白谷栄作

報文：平野部水田地帯における真の低コスト稲作の実現方策と課題：石井 敦

技術レポート

北海道支部：台風被災からの農地災害復旧と農業生産性回復への取組み：三條 肇ほか

東北支部：西海岸関地区広域農道整備事業におけるトンネルの施工事例：松下将光ほか

関東支部：経営体育成基盤整備事業二重地区の圃場整備工事：阿部剛士ほか

京都支部：設置後 40 年が経過した鋼製集水井の補修：平尾拓也

中国四国支部：ため池整備工事における ICT 土工の活用事例：妹尾光夫

九州沖縄支部：クリークが有する生物多様性のレジリエンスを維持する取組み：山内順也ほか

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加くださるよう、お待ちしております。

Ⓟのマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
2019年8月 13～15日	農業用水展示実行委員会	第43回「水の週間」水のワークショップ・展示会	—	東京都	87巻6,7,8号
2019年8月 27日	創立90周年記念式典実行委員会	創立90周年記念式典	—	東京都	—
2019年9月 4～6日	大会運営委員会	2019年度（第68回）農業農村工学会大会講演会	Ⓟ	東京都	86巻12号 87巻1,4号
2019年9月 6～8日	農業農村工学サマーセミナー実行委員会	サマーセミナー2019	農業農村工学が令和で切り開く未来～話と輪をつなぐ若手交流～	東京都	87巻6,7号
2019年9月 19日	農村計画研究部会	第41回現地研修集会	Ⓟ	那須塩原市	87巻6,8号
2019年10月 17, 18日	中国四国支部	第74回講演会・第43回地方講習会	Ⓟ	山口市	87巻5,6,7号
2019年10月 17, 18日	畑地整備研究部会	第52回研究集会	Ⓟ	東京都ほか	87巻8号
2019年10月 25日	土壌物理研究部会	第58回研究集会	Ⓟ	つくば市	87巻7号
2019年11月 8日	関東支部	第70回支部大会	Ⓟ	沼津市	87巻5,7,8号
2019年11月 12, 13日	東北支部	令和元年度総会・第61回研究発表会・第51回研修会・第41回地方講習会	Ⓟ	秋田市	87巻6,7,8号
2019年11月 13日	農村道路研究部会	第29回研究集会	Ⓟ	新潟市	87巻7,8号
2019年11月 14, 15日	九州沖縄支部	令和元年度支部大会	Ⓟ	大分市	87巻4,8号
2019年11月 27, 28日	京都支部	第76回研究発表会	Ⓟ	和歌山市	87巻4,6号

2020年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）

2020年度の農業農村工学会賞（上野賞、沢田賞を除く）を、本学会誌第87巻第6号68～69ページ掲載の募集要項に則って、推薦書によりご推薦ください。

締切は、2019年10月末日です。推薦書様式および授賞規程は学会ホームページ（<http://www.jsidre.or.jp/format/>）をご参照ください。

第43回「水の週間」水のワークショップ・展示会について（第3報）

「水のワークショップ・展示会」は例年同様「水の週間」のイベントの一つとして行われます。

今年も昨年までと同様に、農業農村工学会が農業用水展示実行委員会を組織し、関係団体の協力を得て、農業用水分野として展示の準備を進めております。昨年と同様に東京国際フォーラムで開催される丸の内キッズジャンボリーのイベントの一つとして出展します。

多くの方のご来場をお待ちしております。

記

1. 会期 2019年8月13日（火）～15日（木）
2. 場所 東京国際フォーラム G棟701
3. 主催 国土交通省、東京都、水の週間実行委員会
4. 全体テーマ 君の知らない水の世界～水の大辞典～
5. 農業用水テーマ びっくり！農業用水のふしぎ
6. 展示内容 学生によるワークショップ、iPad アプリによるゲーム、パネル展示、田んぼの生き物水槽など

2019年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について（再）

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし、下記取扱い内規によって、競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は、60万円程度（原則1件20万円以内）です。

本年度の申請締切は2019年9月13日（金）です。助成金を希望される方は期限までに、必要事項を記入した申請様式（末尾参照）で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長あてにお申し込み下さい。

試験研究機関、行政、大学、民間等からの応募を歓迎いたします。

「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1. 申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「戦略的研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4. 助成対象」に示すとおりとする。
2. 認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は、「研究申請書作成グループ」の申請内容（申請の意義、準備の状況、将来の展望など）を検討して、助成するグループと金額を決定する。なお、この決定内容は学会長に報告する。
3. 助成：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し、「研究連絡費」を助成する。ただし、その助成は原則として1年とする。可否の認定に当たっては、科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先する。
4. 助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。
 - (イ) 具体的な研究テーマをもち、それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。
 - (ロ) 「研究申請書作成グループ」には代表者（本学会

員)をおき、構成員（本学会員以外も可）は原則として3名以上、それらの所属する機関が2つ以上あること。

(ハ) 代表者は論文集またはPWE誌の購読者（援助決定後の購読も可）であること。

5. 活動報告：助成金を受領した「研究申請書作成グループ」は、助成金受領後1年以内に活動報告として、作成した申請書とその提出および審査の経過を、戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され、必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

また、得られた成果を論文集またはPWE誌に積極的に投稿すること。

6. その他：申告書の内容について、研究委員会で審議した内容を採否通知に同封します。

「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式

締切：2019年9月13日（金）

申込先：研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長あて

E-mail：new-suido@jsidre.or.jp

必要記載事項：

- (1) WG名（または部会名） (2) 代表者名・所属
- (3) 参画者名・所属 (4) 研究テーマ名（仮）
- (5) 研究の目的と内容（500字程度）
- (6) 研究資金申請応募先（予定）

今年もやります！ こりゃ映像！ 2019—ミニ動画コンテスト—（再）

農業農村工学会広報委員会では、昨年に引き続き、下記のとおり、農業農村工学を紹介する動画を広く募集します。

1. 応募締切 2019年8月20日（火）17時
2. 動画の制限時間 60秒以内
3. 2019年度のテーマ 農業用水
4. 応募資格 なし（どなたでも応募できます）
5. 応募方法 動画をYouTubeへ指定されたタブを付けてアップロードする。
6. 審査方法 広報委員会動画ワーキングチームで審議の上、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を決定する。
7. 賞金 最優秀賞（1作品）2万円
優秀賞（2作品）各1万円
8. アップロード方法
 - ① 動画を作成する。
 - ② YouTubeにアップロードする（9. 参考資料を参照）。
 - ③ タグに3つのワード（jsidre2019, こりゃ映像, 農業用水）を入れる。
 - ④ カテゴリに「科学と技術」を選ぶ。
 - ⑤ 下記の情報を広報委員会動画WT（new-suido@jsidre.

or.jp）宛にメールで送る。

入賞賞金をお渡しするのに必要な情報（氏名、年齢、性別、所属、連絡先、YouTube動画のURL）

9. 参考資料

- ・YouTubeにPCから動画をアップロードする方法
<http://douga-tec.com/?p=4974>
 - ・スマホからYouTubeに動画をアップロードするには—Android入門
<http://android.f-tools.net/Q-and-A/YouTube-Upload.html>
 - ・【2017年版】Youtube（ユーチューブ）に動画をアップロードする方法
<https://www.youtube.com/watch?v=O1slFYR0KIY>
 - ・動画作成のヒント（超かんたん動画投稿法）
<https://www.youtube.com/watch?v=eq5PUALLukk>
- <参考>こりゃ映像2018 結果（テーマ：私のかんがい施設遺産）

最優秀賞：万葉のゆたかな水の里 下八ヶ佐加野用水
富山県土地改良事業団体連合会 竹沢良治

高岡市土地改良区 北川 孝

<https://www.youtube.com/watch?v=b2NvJysXF0o>

優秀賞：田の下の力持ち、府中用水

東京農工大学大学院 国際環境農学専攻 岩本智寛

https://www.youtube.com/watch?v=fy0NadQy_gQ

「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金は今後、学生会員のインターンシップの助成にも対象を拡げる予定です。

個人会員一口 5,000円 (何口でも可)

法人会員一口 50,000円 (何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 (社)農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

消費税の改定予定に伴う定価表示の変更について (再)

2019年10月1日から消費税の引上げが予定されているため、定期刊行物の購読料および図書の定価表示を2019年4月から下記のように外税表示に変更いたしました。会員の皆様のご理解をお願い申し上げます。

●定期刊行物 (学会誌・論文集)

学会誌 1冊：本体1,115円+税

非会員年間購読料 16,848円

(1,204円 (8%時) + 200円 (送料) の12ヵ月分)

論文集 1冊：本体7,570円+税

年間購読料

会員 (名誉, 正, 賛助)

7,570円+税

学生会員

4,000円+税

非会員年間購読料 (年2回冊子発行)

16,750円 (8%時)

(1冊の定価 (8,175円, 8%時) + 200円 (送料) の2冊分)

●出版物の定価表示

図書は、「本体価格+税」に統一する。本体価格は、現行価格 (消費税8%含む) を1.08で割り戻し、円単位で四捨五入して10円単位とする。

例：設計ダム

変更前定価表示 19,543円 (消費税8%含む)

変更後定価表示 本体18,100円+税

PWE誌年間購読料の値下げについて (再)

オンラインジャーナル Paddy and Water Environment (PWE誌) について、2018年度の学会と発行元のSpringer社との契約変更、および今後の購読者数などの動向や会員サービスの向上などを踏まえ、2019年4月から下記のとおり年間購読料を値下げいたしました。

年間購読料

値下げ後

値下げ前

正会員・名誉会員

9,000円+税

12,343円

(9,720円, 消費税8%時) (消費税8%含む)

学生会員

4,500円+税

8,743円

(4,860円, 消費税8%時) (消費税8%含む)

会費等の「振込手数料」のご送金者 (会員様等) 負担について (再)

ゆうちょ銀行の手数料値上げに伴い、従来学会負担としていた「振込手数料」について、2019年4月1日からすべての「振込手数料」をご送金者 (会員様等) の負担とさせていただきます。皆様には、ご負担をおかけしますが、ご理解をお願いいた

します。

【主な対象となる振込手数料】

① 会費

② CPD 利用料

「改訂6版 農業農村工学標準用語事典」の出版について

2019年8月27日に改訂6版「農業農村工学標準用語事典」が出版されます。なお、改訂5版農業土木標準用語事典は2019年7月31日をもって販売を終了しました。

	会員価格	非会員価格
定 価	本体 3,700 円 + 税	本体 4,500 円 + 税

学生会員入会時の特典について

農業農村工学会では、将来を担う若い方達が早くから学会活動に参加することを通じて、よりよく社会に貢献できる環境づくりを目指しています。その一環として、学生の方々が少しでも入会しやすいように、学生会員入会特典を設けております。

これから学生会員として入会をお考えの学生の皆様、是非ご利用ください。

①ハンドブック3点セット

(ハンドブック+用語事典+初年度会費)

学部生 17,000 円 (15,750 円)

大学院生 19,500 円 (16,750 円)

②必携3点セット

(必携+用語事典+初年度会費)

学部生 7,000 円 (5,750 円)

大学院生 10,000 円 (7,250 円)

③2点セット

(用語事典+初年度会費)

学部生 5,000 円 (3,750 円)

大学院生 8,000 円 (5,250 円)

() 内の金額は、10月1日以降入会の場合。

なお、用語事典を購入した学生会員に限り、用語事典の内容をスマートフォンなどで閲覧可能なサービスを提供いたしません。

ハンドブック：改訂七版農業農村工学ハンドブック

必携：資格試験のための農業農村工学必携（第二版）

用語事典：改訂6版 農業農村工学標準用語事典

問合せ先 (公社)農業農村工学会 図書係

E-mail : suido@jsidre.or.jp

「CPD 技術者サポート票」無料ダウンロードサービスの開始について (再)

農業農村工学会技術者継続教育機構では、技術者自身が CPD 登録期間中の「認定ポイント」、「取得ポイント」、「過年度の研鑽履歴のトレンドをグラフ化した情報」などを確認し、目指す専門分野の技術力向上や資格取得に向けて効率よく研鑽ができるよう、2019年3月18日から「CPD 技術者サポート票」

(Excel ファイル) の無料ダウンロードサービスを開始しました。ご利用手順などについては当機構ホームページの「お知らせ一覧」をご参照ください。

http://www.jsidre.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2019/03/CPD_engineersupport_190320.pdf

学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !!

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構の CPD 個人登録者の方が CPD 単位を在宅のまま取得できる方法として、平成 17 年 10 号から農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD 通信教育」を実施しています。学会員であり、かつ CPD 個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大 24 cpd を取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非 CPD 通信教育へご参加ください。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で送信してください。

1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構の CPD 個人登録者

2. 出題内容と出題方法

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月10問を出題

3. 解答方法

Web 画面に正解と思う番号を入力し、送信 (事前に Web 利用登録が必要)

4. 解答期限

問題掲載月の月から翌月末日まで

(例：学会誌 8 号掲載の問題は 9 月末日が解答期限)

5. 取得できる CPD 単位

10 問正解で 2 cpd を、7~9 問正解で 1.5 cpd を自動登録

(正解数 6 問以下の場合は CPD 単位の付与はされません。)

6. 自動登録の時期

取得した CPD 単位は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

2020 年の学会誌表紙写真の募集

学会誌企画・編集委員会では、2020 年発行の学会誌も引き続いて学会員の皆さまからの写真などを基本に表紙を飾ることとします。以下の趣旨を参考に魅力ある写真などをふるってご応募ください。

趣 旨

現代に入り農業の近代化のために、農業農村工学の粋を集めた多くの農業（水利）施設が造成され、農業や農村の基盤を支えています。そして、近年、それらも更新や機能保全を重ね施設の様態も変化してきています。さらに、日本の農業農村工学の成果は技術移転により、海外の多くの国々で現地適用され、それらの国々の食料供給と農業生産の基盤を支えています。農業農村の現場で活躍される技術者、現場での調査研究に邁進されている研究者・学生の皆さま、国内外の農村地域における農業施設・構造物、特に新たに完成した施設や施工中の現場事例および国外においては日本の関連技術が適用された事例などの匠（造形美、用の美、融合の美）とそれを含む景観を広く学会員にご紹介ください。

記

1. テーマ

「農業（水利）施設・構造物とそれらに支えられた農地・地域の景観など：現代の最新技術と苦勞が垣間見える造形美・用の美など」

2. 対象巻号 学会誌第 88 巻（2020 年 1～12 号）

3. 写真などの種類

応募写真はデジタル、フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。（プリントは「写真用紙—フォトペーパー／滑面タイプ」を使用してください。四つ切りワイド、A4 サイズも含まれます）。なお、六つ切りは 203×254 mm、四つ切りは 254×305 mm、同ワイドは 254×356 mm、A4 は 210×297 mm です。カラー、モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限って画像データを送っていただきます。一点につき 5 MB 以下とし、これを超えるものは CD または DVD にて送ってください。形式は JPEG のみに限定します。

4. 枚 数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

5. 締 切 夏季 2019 年 9 月 30 日

※応募時、過去 1 年以内に撮影したのものに限ります。

6. 審 査 審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

7. 結果発表

学会誌第 88 巻第 1 号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は 2020 年度大会講演会会場内でパネル展示します。

8. 被写体の説明文または「Cover History（表紙写真由来）」の執筆および写真使用料について

採用作品の応募者には、被写体の説明文（500 字程度）をご執筆いただきます。また、ご希望の応募者には、撮影の動機、被写体にひかれた点、被写体の説明などを、学会誌掲載の「Cover History（表紙写真由来）」にご執筆いただくことができます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。また、採用作品には規定の写真使用料（1 点につき 1 万円）をお支払いします。なお、すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送りします。

9. 使用権・著作権

採用作品の使用権および著作権は（公社）農業農村工学会に属します。

10. 注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、農業施設・構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）が採用の条件となります。

また、被写体の肖像権や権利関係については許可等、十分ご注意ください。

11. 応募方法および応募先

学会ホームページより、応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、勤務先、電話番号、E-mail アドレス、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、対象物の固有名称（固有名称）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送りください。

なお、原則として、応募写真は返却いたしません。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

（公社）農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係

TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494

E-mail：henshu@jsdre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/>)

journal/)に掲載の「農業農村工学会誌投稿要項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

学会誌第 87, 88 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ		要 旨 縮 切 (A 4 判 1,500 字以内)
第 87 巻第 9 号	農地集積 8 割の達成後、農村はどのように変化していくのか	終了
10 号	世界かんがい施設遺産や世界農業遺産による農村の活性化 (仮)	終了
11 号	学会創立 90 周年記念号 I (仮)	—
12 号	学会創立 90 周年記念号 II (仮)	—
第 88 巻 1 号	農業農村工学におけるソフトウェアの開発と利用 (仮)	終了
2 号	東日本大震災からの復旧・復興 (仮)	8 月 10 日
3 号	新規就農者の可能性とそのための課題や取組み (仮)	9 月 10 日
4 号	農業農村工学分野における JABEE 認定プログラムの持続可能性と課題 (仮) (趣旨は次号に掲載します。)	10 月 15 日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せください。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4
(公社)農業農村工学会
農業農村工学会誌企画・編集委員会あて
TEL : 03-3436-3418 FAX : 03-3435-8494
E-mail : henshu@jsidre.or.jp

第 88 巻第 2 号テーマ「東日本大震災からの復旧・復興」(仮)

東日本大震災から 2019 年 3 月で 8 年が経過し、被災地の復旧復興が進み、岩手県、宮城県、福島県の被災農地の 88%、排水機場の 99%、農地海岸堤防の 97%が復旧し、被災農地を大区画化する仙台東地区も完了を迎えています。

しかしながら、東京電力福島第一原子力発電所の事故による避難指示などがなされた福島県下の原子力被災 12 市町村においては、津波による農地の甚大な被害に加え除染後の地力低下などの課題も明らかとなり、農家は長期かつ遠方への避難や、風評被害、鳥獣被害など複合的な要因が相まったなか、営農再開も想定以上に進まない状況が続いています。したがって、福島県については本格的な復旧・復興はこれからの状況です。こ

うした厳しい状況下においても営農再開の機運は、早期に避難指示解除された地域から次第に高まってきており、地域の復興において農業農村整備の実施がきわめて重要な役割を担っています。

このように、東日本大震災の復旧・復興は各地域の事情によりその進捗が異なる状況となってきており、復旧・復興がこれから着手される地域もあることから、各地の復旧・復興状況を紹介するとともに、復旧を契機とした新たな農業の展開が図られている地域の紹介や復旧・復興に難航している地域に係る調査、工法の選定と施工の事例や課題などについて、広く報文を募集いたします。

第 88 巻第 3 号テーマ「新規就農者の可能性とそのための課題や取組み」(仮)

農業就業人口は 2018 年で 175.3 万人 (平均年齢 67 歳)、2010 年の 260.6 万人から 8 年間で 33%減少と農業の担い手の面からきわめて厳しい状況にあります。わが国では大区画圃場による経営の大規模化、IoT や AI 技術など農作業への先端技術の活用も推し進められるところです。その一方で、国連では世界中の家族農業の権利を守る宣言の採択により、小農を重視する潮流が見られます。

また、わが国の農業分野への海外研修者は年々増加しており、技能実習生意向申請者数 (滞在期間が最長 5 年) は 2013 年

510 人から 2017 年 2,758 人 (5.4 倍/4 年間) に増加しています。「働き方改革」と合わせて 4 月に施行された「改正入管法」は、詳細基準こそ未確定ですが海外労働者の長期滞在が検討され、農業分野 (耕種・畜産農業全般) では 5 年間で 3.65 万人を受け入れる予定です。諸外国で移民問題が噴出する中で異常なほど急激な法制化の動きに、受け皿となる農村社会への悪影響が懸念されます。

このような農業就業環境の変化に対して、農業の持続性や地域の振興を図るため、現状を把握するとともに、都市農業、都

市農村交流、既存農業組織や農業者の持続性、および、農村での外国人材の位置づけと社会的包摂のあり方について、議論と合意形成が大切です。そこで本小特集は、就農者を増やし、豊

かな農村地域を形成する可能性とその課題や取組みについて、長期・短期の観点からの研究や事例、提案などを集め、農業の持続性や地域振興について考える機会としたいと思います。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2018年7月から2020年6月までの編集事務局について

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering : PAWEES) では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは、モンsoonアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。また、2017年のインパクトファクター (IF) は過去最高の1.379となり、国際ジャーナル誌としての位置づけがますます向上しています。

水田農業における土地、水、施設および環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としており、掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動物植物の生態系)
- ⑦ 水利施設と減災・防災 (施設管理, 地すべり, 気候変動, 災害防止など)
- ⑧ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
- ⑨ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑩ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
- ⑪ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)

また、世界11カ国からEditor (19名) を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の4種類です。

一方、2018年7月から、新たな編集体制をスタートさせました。詳細は以下のとおりです。

編集体制

- ・ Editor-in-Chief : Dr. Takao MASUMOTO (Japan)
Faculty of Bioresource Science, Akita Prefectural University, Akita, Japan
- ・ Associate Editors-in-Chief
Dr. Seong-Joon Kim
Konkuk University, Korea
Dr. Chen-Wuing Liu

National Taiwan University, Taiwan, ROC

・ Editors 11カ国から19名

・ Editorial Advisors 29名

・ Chief Managing Editor

Dr. Kimihito NAKAMURA

Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan

・ Managing Editors

Dr. Eunmi Hong

Kangwon National University, Korea

Dr. Inhong SONG

Department of Landscape Architecture and Rural Systems Engineering, Seoul National University, Korea

Dr. Chihhao FAN

Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Rep. of China

Dr. Kuo-Wei LIAO

Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Rep. of China

Dr. Hiroshi IKEURA

Rural Development Division, Japan International Research Center for Agricultural Science (JIRCAS), Japan

Dr. Andrew WHITAKER

Graduate School of Science and Technology, Niigata University, Japan

編集事務局 (2018年7月から2020年6月まで)

・ Dr. Kimihito NAKAMURA

Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan
Oiwake-cho, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, JAPAN

TEL : + 81-75-753-6156

FAX : + 81-75-753-6476

E-mail : nakamura@kais.kyoto-u.ac.jp

投稿先 : オンライン投稿 (<http://pawe.edmgr.com/>) になります。

投稿資格 : 筆者が農業農村工学会員でPWE誌の購読者であること。

投稿要領等 : <http://pawe.edmgr.com/> に詳細を記載しています。

発行スケジュール : 年4回 (オンラインジャーナル)

購読料 : 正会員・名誉会員 9,000円 + 税

学生会員（院生含む）4,500 円＋税
 非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず
 農業農村工学会にご入会の上、お申し込みください。
 なお、オンラインジャーナルへの完全移行に伴い、2016 年度

からの購読はパスワードによる Web 上での閲覧になっていま
 す。冊子体の配布はありません。

申込先：農業農村工学会事務局（suido@jsidre.or.jp）まで会
 員番号を明記の上、お申し込みください。

令和元年度東北支部総会・第 61 回東北支部研究発表会ならびに
 第 51 回東北支部研修会・第 41 回地方講習会の開催について（第 3 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 期 日 令和元年 11 月 12 日（火）、13 日（水）

2. 会 場 秋田ビューホテル
 〒010-0001 秋田市中通 2-6-1
 TEL：018-832-1111

【会場までのアクセス方法】

- ・ JR 利用の場合
 JR 秋田駅西口から徒歩約 2 分
- ・ 航空機利用の場合
 秋田空港よりリムジンバスで約 40 分乗車
 「秋田駅西口」バス停下車 徒歩約 2 分

3. プログラム概要

【第 1 日目】 11 月 12 日（火）

- (1) 支部総会・研究発表会 [会場：秋田ビューホテル]
 9：00～9：30 受付
 9：30～10：15 支部総会
 10：15～10：45 支部賞授賞式
 10：45～11：00 休憩
 11：00～12：00 特別講演
 美郷町長 松田知己
 12：00～13：00 昼食・休憩
 13：00～17：00 第 61 回支部研究発表会
- (2) 情報交換会 [会場：秋田ビューホテル]
 18：00～20：00

【第 2 日目】 11 月 13 日（水）

- (3) 支部研修会・地方講習会 [会場：秋田ビューホテル]
 9：30～10：00 受付
 10：00～12：00 第 51 回支部研修会
 ※ローカルセッション形式で行います。
 12：00～13：00 昼食・休憩
 13：00～15：20 第 41 回地方講習会
 ①：農業用ため池の管理及び保全に関する法律につ
 いて
 ②：「UAV を活用した機能診断マニュアル（案）」
 について

4. 支部大会参加申込方法

- (1) 参加申込み
 「参加申込書」に必要事項を記入し、所属機関ごとに取り
 まとめのうえ、E-mail にてお申し込みください。申込
 様式は東北支部ホームページ（http://www.jsidre.

or.jp/tohoku/）よりダウンロードできます。

- (2) 参加申込み受付期間
 令和元年 8 月 19 日（月）～10 月 11 日（金）
- (3) 参加費
 総会・研究発表会 3,000 円（学生会員 1,000 円）
 情報交換会 5,000 円（学生会員 3,000 円）
 支部研修会・地方講習会 4,000 円（非会員 5,000 円）
- (4) 参加費の納入方法
 参加申込みと同時に次の銀行口座に全額前納で振込
 （振込手数料は、振込人負担）をお願いします。

【振込先】

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）
 店 名：八二八（店番号：828）
 口座番号：普通預金 1803103
 口座名：公益社団法人農業農村工学会東北支部事務局
 シヤ）ノウギョウノウソンコウガクカイトウ
 ホクシブジムキョク

【留意事項】

振込元が申込書と照合できるように、所属・氏名等を必
 ず記入してください。
 なお、納入された参加費については、参加の有無にかか
 わらず返金いたしませんのでご了承ください。

- (5) 参加申込み先および問合せ先
 農業農村工学会東北支部事務局
 秋田県農林水産部農地整備課 石川、宮田
 〒010-8570 秋田市山王 4-1-1
 TEL：018-860-1821
 E-mail：nouchiseibika@pref.akita.lg.jp

5. 研究発表の申込み

- (1) 原稿受付期間
 令和元年 8 月 19 日（月）～9 月 27 日（金）
- (2) 申込み・問合せ先
 〒010-0444 南秋田郡大潟村字南 2-2
 秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科
 永吉武志まで
 TEL：0185-45-3915 FAX：0185-45-3915
 Email：tnaga@akita-pu.ac.jp
- (3) 要領
 研究発表要旨集原稿の書き方、投稿票ファイルについ

ては、農業農村工学会東北支部のホームページに掲載していますので、ご参照ください。

6. 宿泊について

宿泊施設の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

7. その他

特別講演および支部研修会（ローカルセッション）のテーマは、決定次第、東北支部ホームページに掲載します。

第70回関東支部大会（講演会・講習会等）の参加者募集について（第3報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 支部大会（講演会・講習会等）

(1) 日時

令和元年11月8日（金）11:00~17:00
(受付10:00~)

(2) 会場

ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ
〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-4
TEL: 055-920-4100
<https://www.plazaverde.jp>

(3) 会場への案内

○公共交通機関の場合

JR 東海道本線沼津駅北口より徒歩3分

○車の場合

東名高速道路沼津ICから一般道で約15分

※施設に駐車場はありますが、有料で数に限りがあります。料金は、各自での負担をお願いいたします。

2. 情報交換会

(1) 日時

令和元年11月8日（金）17:30~19:30

(2) 会場

ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ

3. 参加申込方法

(1) 申込方法

「第70回農業農村工学会関東支部大会申込書」に必要事項を記入し、所属機関ごとに取りまとめのうえ、E-mail または FAX、郵送にてお申し込みください。

(2) 申込期限 令和元年8月30日（金）

(3) 参加費

・講演会と講習会 2,500円（講演発表者（共同発表者除く）は無料）

・情報交換会 6,000円

(4) 昼食

昼食を希望される方は、お弁当（1,000円）を用意いたしますので、参加申込みと同時に申し込みください。ただし、講演発表者（共同発表者除く）は無料です。

駿河湾の深海魚を使用したフレンチシェフ特製弁当を予定しています。

(5) 参加費等の納入方法

令和元年9月30日（月）までに全額前納してください。なお、キャンセル、変更については、令和元年9月

30日（月）以前の申し出に限りまして、振込手数料等の実費を差引き返金いたします。それ以降のキャンセルにつきましては応じかねますので、ご了承ください。

【留意事項】

振込手数料は、各自にてご負担願います。

【振込先】

スルガ銀行 静岡県庁支店

店番号: 724 口座番号: 普通 3647189

口座名義: 第70回農業農村工学会関東支部大会 事務局 代表 櫻井正陽（ダイナナジユツカイノウギヨウノウソンコウガツカイカントウシブタイカイジムキョクダイヒヨウサクライマサル）

※振込元が申込書と照合できるように、氏名・所属の順で必ず記入願います。

(6) 申込先および問合せ先（事務局）

静岡県経済産業部農地局農地計画課事業調整班

渡邊 小粥

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6

TEL: 054-221-2715 FAX: 054-221-2449

E-mail: nn-kanto@pref.shizuoka.lg.jp

(7) 申込様式

申込様式は、静岡県経済産業部農地局農地計画課ホームページ上に掲載してありますので、ファイルをダウンロードしてご利用いただくことも可能です。

(<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-440/gakkai>.)

所 属	電話番号				
申込者氏名	FAX 番号				
E-mail					
所属所在地	〒				
ふりがな 氏 名	区 分	参 加 者		昼 食	合 計 額
		講演会・ 講習会	情報交換 会		
	発表者 共同発表者 学 生 一 般	参加の有 無を○× で記載	参加の有 無を○× で記載	昼食の有 無を○× で記載	金額を 記入
例) 関東太郎	一般	○	○	○	9,500円
例) 関東次郎	発表者	○	○	○	6,000円
合 計					¥

html)

(8) 講演会題目

講演題目は、8月5日(月)以降、静岡県経済産業部農地局農地計画課ホームページで公表します。(https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-440/gakkai.html)

4. その他

・宿泊の斡旋・手配は行いませんので、各自での対応をお願いします。

・詳細は、静岡県経済産業部農地局農地計画課ホームページをご確認ください。(https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-440/gakkai.html)

令和元年度九州沖縄支部大会
(第100回講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会)の開催について(第2報)
 技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 日時

令和元年11月14日(木)

10:00~17:00 開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・講演会

18:00~20:00 情報交換会

令和元年11月15日(金)

10:00~10:50 講習会

11:15~17:00 現地見学会

2. 会場

(1) 開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・講演会・講習会

トキハ会館 (http://www.tokiwa-dept.co.jp/kaikan/)

〒870-8688 大分市内町2-1-4

TEL:097-538-3125 FAX:097-538-3121

(鉄道:JR大分駅より徒歩10分,

バス:「トキハ前」下車,徒歩5分)

(2) 情報交換会

アートホテル大分

(https://www.mystays.com/hotel-art-hotel-oita-oita/)

〒870-0034 大分市都町2-1-7

TEL:097-538-8701

3. プログラム

(1) 11月14日(木) 開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・講演会・情報交換会

① 9:00~ 受付(5階エレベーター前ロビー)

② 10:00~10:30 開会式(5階ローズの間)

③ 10:30~10:50 支部賞授賞式(5階ローズの間)

④ 11:00~12:00 シンポジウム(5階ローズの間)

「嘉南大圳における日本精神」

～八田與一の生きる哲学とは～(仮題)

トヨタ自動車(株) 八田修一

⑤ 12:00~15:00 講演会【ポスターセッション】

(5階ローズの間前ホワイエ)

⑥ 13:00~17:00 講演会【オールセッション】

第1会場(5階ローズの間)

第2会場(5階カトレアの間①)

第3会場(5階カトレアの間②)

第4会場(6階さくらの間)

⑦ 18:00~20:00 情報交換会(アートホテル大分)

情報交換会の中で、ポスター賞授賞式および交流会を行います。

(2) 11月15日(金) 講習会・現地見学会

① 9:00~ 受付

② 10:00~10:50 講習会(5階カトレアの間)

「農業用ため池の管理及び保全に関する法律について」

③ 11:15~17:00 現地見学会

集合時間:11:10

集合場所:大分駅要町バス乗り場

予定コース:大分駅要町バス乗り場→安心院葡萄酒工房→国営駅館川地区(農地再編整備)→湯布院(自由散策)→大分駅要町バス乗り場

※途中、昼食、休憩あり。現場状況等により見学会が変わることがあります。また、交通事情により終了時間が前後することがあります。

4. 参加費

	講演会 (11/14)	情報 交換会 (11/14)	講習会 (11/15)	現地 見学会 (11/15)	昼食 (11/14)	昼食 (11/15)
一般 料金	6,000円	4,000円	2,000円	4,000円	1,000円	1,000円
学生 料金	3,000円	4,000円	1,000円	3,000円	1,000円	1,000円

※参加費内訳

講演会:講演集代6,000円(学生3,000円)

講習会:テキスト代2,000円(学生1,000円)

現地見学会:バス代経費4,000円(学生3,000円)

5. 講演会(オール・ポスターセッション)の発表申込み・発表方法

令和元年度支部大会の運営および参加申込受付は、大会運営事務局(大分県)が担当し、講演会の発表申込受付とプログラム編集は、九州沖縄支部事務局(宮崎大学)が担当します。

講演会の発表については、下記によりお申し込みください。

なお、オールセッションとポスターセッションの投稿方法は下記のとおり統一されています。また、学生会員(学部生・研究生・大学院修士)はオールセッションではなく、ポスターセッションにお申し込みください。

(1) 投稿方法

「講演要旨 (PDF 形式)」と「講演会投稿票 (MS-Excel 形式)」の各ファイルを電子メールに添付してご投稿ください。電子メールの件名には「2019 九州沖縄支部大会 (大分)」と記載してください。

なお、講演要旨と講演会投稿票は、9.の支部ホームページからダウンロードしてご利用ください。

(2) 講演要旨・講演会投稿票の書き方

9.の支部ホームページから、「講演会投稿票・講演要旨の書き方および電子投稿要領」をダウンロードし、ご参照ください。

また、過去15年以内に価値ある業績等を通算3回以上口頭で発表した会員に授与する研鑽賞は自己申告制ですので、受賞対象者になると思われる方は講演会投稿票に必要事項を記入して申告してください。

(3) 投稿先 (九州沖縄支部事務局)

E-mail : nakazono@cc.miyazaki-u.ac.jp

(宮崎大学農学部 中園健文)

(4) 投稿締切

令和元年8月23日(金)

(5) オーラルセッションの発表方法

1 課題当たりの発表時間は質問・交代時間を含めて12分程度です。発表用機材としてパソコン(OS: Windows7, ソフト: MS-PowerPoint2010)とプロジェクターを大会運営事務局で用意します。OHP・スライド用機材は用意することができませんのでご了承ください。

(6) ポスターセッションの発表方法

原則として学生会員(学部生・研究生・大学院修士)を対象に募集します。ポスター賞を若干名に授与します。事前のポスター送付は不要です。

なお、ポスターセッションは12時~15時終了となる予定です。

① 用紙および枚数

1 課題当たり A0 (縦) 版1枚以内

② ポスターの掲示

11月14日(木)11時までに、発表者の責任で掲示用パネルにポスターを掲示してください。掲示用パネルのサイズは(高さ)2.10m×(幅)1.80mとなる予定です。

6. 支部大会参加申込方法

(1) 参加申込み

参加申込書により所属ごとに取りまとめ、下記8.の大会参加申込受付(参加申込先)へ、メールまたはFAXによりお申し込みください。(できるだけメールでお願いします。)

なお、講演会での発表希望者も参加申込みが必要です。参加申込書(MS-Excel形式)の作成は、下記9.の支部ホームページからファイルをダウンロードしてご利用ください。

(2) 申込期限

令和元年8月30日(金)

※会場の都合により定員になり次第、締め切りますので、早めにお申し込みください。

(3) 参加費の納入

申込みを受け付けた後、9月中旬までに確認書・請求書を送付いたしますので、内容を確認の上、同封の請求書記載の期限までにお振り込みください。

※振込後の参加費等の返還には応じられませんので、ご注意ください。

また、本大会の参加申込受付および講演会・講習会・現地見学会等の参加費受領については、下記8.東武トップツアーズ(株)大分支店に業務を委託しており、見積・納品・領収・請求書等は大会事務局が発行しますが、振込先は東武トップツアーズ(株)東武支店となりますので、ご注意ください。

なお、参加申込書Excelファイルに見積・納品・領収・請求書(案)を掲載しております。記載内容や必要・不必要等、十分にご確認いただき、必要に応じ朱書き訂正をお願いします。(当日、領収書等の変更・再発行がございませんようご配慮願います。)

(4) 宿泊について

大会運営事務局では宿泊の斡旋・手配は行っておりません。宿泊施設の利用をご希望の方は、8. 大会参加申込受付の東武トップツアーズ(株)大分支店まで個別にお申し込みください。

7. 大会運営事務局

農業農村工学会九州沖縄支部大会運営事務局

(大分県農林水産部工事技術管理室工事技術管理班 担当: 須藤)

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

TEL: 097-506-3533 FAX: 097-506-1757

E-mail: suto-yuya@pref.oita.lg.jp

8. 大会参加申込受付(参加申込先)

東武トップツアーズ(株)大分支店 担当: 永島

〒870-0034 大分市都町1-1-19

TEL: 097-538-1091 FAX: 097-538-1487

E-mail: nougyo@tobutoptours.co.jp

9. 支部ホームページ

農業農村工学会九州沖縄支部ホームページ:

<http://jsidre.or.jp/kyusyu/>

農村計画研究部会第41回現地研修集会の開催について（第2報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 主 催：農村計画研究部会
共催・協賛：農村計画学会
2. 日 程 2019年9月19日（木）
3. 場 所 那須野ヶ原土地改良区連合内施設および周辺施設
4. テーマ 農村における再生可能エネルギーの創出の現状と今後の展望

5. 趣 旨

平成26年に農山漁村再生可能エネルギー法が施行され、各地方自治体では策定した基本計画に基づき、地域における資源を利用した太陽光、水力、風力、バイオマス発電などが推進されてきました。本現地研修集会では那須野ヶ原土地改良区連合における再生可能エネルギー関連施設を見学し、現場で明らかになったそれぞれの発電技術における課題やその解決法について、現場の担当者から説明を頂きます。また、近年の水利用の変化に合わせた水利施設管理などの状況についても現地の方からお話をお伺いする予定です。

皆様方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

なお、本現地研修集会は、農業農村工学会大会講演会中に開催される企画セッション「農村における再生可能エネルギーの創出の現状と今後の展望」と連動した企画です。

6. 行 程 (案)

- 10:00 JR 那須塩原駅 集合
那須野ヶ原土地改良区連合へ移動
那須野ヶ原発電所等再生可能エネルギー関連施設の見学

16:00 JR 那須塩原駅 解散

7. 参加費・参加申込み

- (1) 参加費（昼食代を含む）
一般6,000円程度、学生3,000円程度
当日集合場所にて現金で集金（現金払いが不可能な方は、申込書にその旨ご記載ください。）
- (2) 参加申込み
申込期限：2019年9月5日（木）まで
申込方法：農村計画研究部会 Web ページ (<http://www.jsidre.or.jp/keikaku/>) より参加申込書ファイルをダウンロードし、申込先へ電子メールで送信
申込先：農村計画研究部会 現地研修集会担当
石川県立大学 山下良平
E-mail : r-yama@ishikawa-pu.ac.jp
変更・取り消し：2019年9月12日（木）までに申込先へ連絡

第52回畑地かんがい研究集会の開催について（第1報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



畑地かんがい研究集会は、農業農村工学会畑地整備研究部会および(一社)畑地農業振興会が共催し2年に1回開催しているものです。本年の畑地かんがい研究集会は、「ICTを活用した畑地農業の展開」をメインテーマとして、研究集会ならびに現地研修会を下記のように開催することになりました。

畑地農業の発展に向け、多様な農業水利施設の建設や農地の再編などさまざまな農業農村整備事業が実施されてきました。これらの事業に伴ってさまざまな現場技術が開発されるとともに、畑地農業のさらなる発展を目指した研究が行われています。本研究集会ではわが国の畑地農業の現状、諸問題、最新の研究事例および現場技術について紹介し、畑地農業の将来の展開について議論します。国、地方公共団体、企業、土地改良区、大学および研究機関などの技術者、行政官、研究者等におかれましては、この研究集会に多数参加されますようご案内申し上げます。

1. 開催日

- 研究集会 令和元年10月17日（木）
現地研修会 令和元年10月18日（金）

2. 研究集会

- (1) 会場：東京大学農学部弥生講堂一条ホール
(東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内)
- (2) 日時：令和元年10月17日（木） 13:00~17:45（予定）
- (3) 課題：ICTを活用した畑地農業の展開
①農業農村整備事業による畑地農業の推進とICTの導入（仮）
農林水産省農村振興局整備部水資源課 鶴沢和弘
②農業情報を活用した新たな栽培管理支援技術
農研機構農業情報研究センター 大野宏之
③ICTを活用した畑地帯の水管理（仮）
農研機構農村工学研究部門 中矢哲郎
④ICTを活用した畑地かんがい技術
畑地かんがい機材メーカー
(注) 上記の講演内容は変更の可能性があります。なお、本研究集会は「農業農村工学技術者継続教育機構認定プログラム」に申請中です。
- (4) 情報交換会 18:00~19:30 東京大学キャンパス内（予定）

3. 現地研修会

令和元年10月18日(金) 8:30~14:30(予定)

- ・東京駅集合・解散
- ・横田農場:ICT水管理(茨城県龍ケ崎市),千葉大学柏の葉キャンパス:植物工場(千葉県柏市)(予定)

4. 参加申込み

学会誌9号,畑地整備研究部会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp/hatachiseibi/>),畑地農業振興会ホームページ(<https://www.hataasin.or.jp/>)に詳細を掲載いたします。

5. 宿泊

各自でご対応をお願いいたします。

6. 各種問合せ先

畑地整備研究部会事務局

〒305-8609 つくば市観音台2-1-6

農研機構 農村工学研究部門 岩田幸良

TEL:029-838-7553 FAX:029-838-7553

E-mail:hatachi@ml.affrc.go.jp

畑地農業振興会

〒105-0012 港区芝大門1-3-11

名和規夫

TEL:03-3438-2581 FAX:03-3438-2583

E-mail:hataasin@muj.biglobe.ne.jp

第29回農村道路研究部会・研究集会の開催について(第2報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

**1. 主催** 農業農村工学会農村道路研究部会**2. 特定課題** スマート農業の普及・地域活性化に寄与する農村道路・基盤整備のあり方

- (1) 招待論文:特定課題
- (2) 研究論文:特定課題および農村道路に係わる研究課題
- (3) 技術報文:農村道路に係わる調査・計画・施工の自由課題

3. 現地研修

- (1) スマート農業実証プロジェクト・見学(デモ実演有)
- (2) ICTと資源循環を考慮した農地・農道整備事例・見学

4. 期日 令和元年11月13日(水)

9:00~12:00 研究集会

新潟大学 駅南キャンパスときめいと(新潟駅構内より5分)

12:30~15:00 現地研修

新潟市内(到着予定 新潟空港 15:10, 新潟駅 15:40)

5. 発表申込み

- (1) 研究集会で研究論文,技術報文を発表するためには発表申込みを行う必要があります。発表申込みおよび原稿作成要領は,農村道路研究部会ホームページ(<http://www.nodai.ac.jp/eng/original/hyse/JSIDRE/Welcome.html>)よりダウンロードすることができます。
- (2) 発表申込みは,発表申込書に必要事項記入の上,E-mailに添付して申込み先に提出してください。表題は「農村道路研究部会研究集会の発表申込み」としてください。

6. 会場

新潟大学 駅南キャンパスときめいと

〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口1-1 プラウカ1・2階

TEL:025-248-8141 FAX:025-248-8144

E-mail:tokimate@adm.niigata-u.ac.jp

URL: <https://www.niigata-u.ac.jp/university/facility/tokimate/>

7. 参加費 5,000円(テキスト代)

当日,受付にて徴収させていただきます。

8. 参加申込み

以下の項目をご記入の上,FAXもしくはE-mailにてお申し込みください。その際,表題欄には「農村道路研究部会・研究集会への参加申込」と明記してください。

- ①参加者氏名,②所属機関名,③所在地,④TEL,FAX,E-mailアドレス,⑤弁当(代金1,000円)予約注文希望の有・無,⑥CPD個人登録者番号(登録希望の方)

9. 申込み・問合せ先

〒034-8628 青森県十和田市東二十三番町35-1

北里大学獣医学部気付 農村道路研究部会事務局

申込受付担当:島本由麻

E-mail:simamoto@vmas.kitasato-u.ac.jp

10. 申込締切

発表申込締切:令和元年9月30日(月)

原稿提出締切:令和元年10月4日(金)

研究集会・現地研修会参加申込締切:

令和元年11月1日(金)

11. 宿泊

各自で手配していただきますようお願いいたします。

令和元年度第63回粘土科学討論会について

- | | |
|--|--|
| <p>1. 主催 (一社)日本粘土学会
後援 (公社)農業農村工学会ほか</p> <p>2. 日時 2019年9月10日(火)～12日(木)</p> <p>3. 場所 埼玉大学
さいたま市桜区下大久保225
JR京浜東北線 北浦和駅またはJR埼京線 南与野駅からバス(所要時間10～15分)、東武東上線 志木駅からバス(所要時間25分)</p> | <p>4. 問合せ先
(一社)日本粘土学会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター</p> <p>5. その他
詳細は第63回粘土科学討論会のホームページ(http://www.cssj2.org/publication/annual_meeting/)をご覧ください。</p> |
|--|--|

日本腐植物質学会第35回講演会および総会の開催について

- | | |
|---|--|
| <p>1. 主催 日本腐植物質学会
共催 (公財)北海道科学技術総合振興センター 幌延地圏環境研究所
協賛 (公社)農業農村工学会ほか</p> <p>2. 日時 2019年9月18日(水)～19日(木)</p> <p>3. 会場 稚内総合文化センター 小ホール</p> <p>4. 内容 一般講演(口頭およびポスター)、テーマ講演(9月18日午後)、総会、懇親会(9月18日夕刻 サフィールホテル稚内)</p> <p>5. テーマ講演 地表と地下の有機物資源</p> <p>6. 参加費
会員2,500円、非会員5,000円(要旨集代を含む)</p> <p>7. 懇親会費 一般6,000円、学生3,000円</p> <p>8. 参加事前登録締切 8月16日(金)
当日参加も受け付けますが可能な限り事前登録をお願いします。</p> <p>9. その他
9月20日(金)に日本原子力研究開発機構幌延深地層研究セ</p> | <p>ンター立坑見学会、ならびに、サロベツ湿原見学会のエクスカッションを企画しています。詳しくは日本腐植物質学会ホームページ(http://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-soil/jhss/)あるいは実行委員会にお問い合わせください。</p> <p>9月の北海道は観光シーズン最盛期のため、宿泊先の予約が難しい場合は実行委員会にお問い合わせください。</p> <p>10. 講演・参加申込み方法
講演題目(口頭・ポスターの別)、発表者、所属、連絡先、懇親会への参加の有無を明記の上、下記へE-mailにてお申し込みください。「発表は1人1演題」です。</p> <p>11. 問合せ・申込先
〒098-3221 北海道天塩郡幌延町栄町5-3
(公財)北海道科学技術総合振興センター幌延地圏環境研究所(H-RISE)
地下微生物環境研究グループ 上野晃生
TEL: 01632-9-4112 FAX: 01632-9-4113
E-mail: akio.ueno@h-rise.jp</p> |
|---|--|

2019年度土壤物理学大会の開催について

- | | |
|--|--|
| <p>1. 主催 土壤物理学会
共催 (公社)農業農村工学会土壤物理研究部会
協賛 (公社)農業農村工学会</p> <p>2. 日時 2019年10月26日(土)</p> <p>3. 場所 筑波産学連携支援センター つくば農林ホール
〒305-8601 つくば市観音台2-1-9
(筑波農林研究団地)</p> <p>4. テーマ
土壌・水環境のサステナビリティとコロイド界面現象</p> <p>5. シンポジウム講演者
牧野知之(東北大学大学院農学研究科)</p> | <p>南光一樹(森林総合研究所森林防災研究領域)
鈴木克拓(中央農業研究センター水田利用研究領域北陸土壌管理グループ)
山路恵子(筑波大学生命環境科学研究科)</p> <p>6. 参加申込み
2019年8月26日(月)～9月26日(木)</p> <p>7. その他
参加費、ポスター発表の要項・テンプレートなど詳細は土壤物理学会ホームページ(https://js-soilphysics.com/conf/)でお知らせいたします。</p> |
|--|--|

第22回(2020年)「日本水大賞」の募集について

1. 目的

日本水大賞は、21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています。

2. 対象範囲

(1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動で、水防災、水資源、水環境、水文化、復興のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校、企業、団体、個人、行政の方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動をさらに継続・発展していただくよう授与しています。

①大賞【グランプリ】(賞状・副賞200万円)

②大臣賞(賞状・副賞50万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】

【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】

ほか

4. 選定の方法等

日本水大賞委員会のもとに、上記の賞を選考するために審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本

水大賞委員会が決定します。

5. 募集期間

2019年7月7日(日)～10月31日(木)(郵送の場合は当日消印有効)

6. 応募方法

応募用紙(3枚:ホームページからダウンロードしてください)に必要事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を送付または持参してください。応募用紙および添付資料が電子データの場合は、E-mailでも応募を受け付けます。

応募方法の詳細はホームページを参照してください。

7. 主催等

(1) 主催 日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮皇嗣殿下

委員長 毛利 衛(日本科学未来館館長)

国土交通省

(2) 後援(予定) 内閣官房水循環政策本部、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、(公社)農業農村工学会ほか33団体

(3) 協賛(予定) 「川の日」実行委員会ほか6団体

8. 送付先・問合せ先

(公社)日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階

TEL: 03-3238-9771 FAX: 03-3288-2426

E-mail: taisyo@japanriver.or.jp

担当: 上田(平日9:15~17:30)

ホームページ: <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>